



市議会だより

12月定例会 人事案件、条例制定などを審議！



「もっと読みやすく」一みなさんの声に応え 議会だよりをリニューアル

市議会では、皆さんから「市議会だよりをもっと読みやすくしてほしい」とのご意見をいただいていた。議会だより議会改革検討委員会や編集委員会で議論をし、今回から、ページ割りや文体の変更、質問者の顔写真を入れるなどの工夫をしました。議会だよりが「市民と議会の架け橋」としての役割を果たせるようこれからも改善に努めていきます。ぜひ、ご意見をお寄せください。



市議会では、12月定例会を、11月28日から12月18日までの21日間の会期で開催し、人事案件、条例制定、補正予算など、35件の議案等を審議しました。
●12月1日、2日、3日に14人の議員が市政について一般質問しました。

安心安全!?西尾市の水害対策



市政クラブ
松崎 隆治

問 浸水被害があった地区に対して、今後どのように対応するか。

答 その都度、対応はしているが早期解決策が見出せていない。全庁的に取り組み、連携して災害に強いまちづくりに努める。

問 集中豪雨に備えた雨水幹線及び雨水排水ポンプ場の機能強化整備地区の進捗状況はどのようか。

答 西尾市全体の雨水排水の基本計画を見直しており、平成24年度から排水計画の策定作業を進めており、完了するのは平成29年度となる予定である。

問 雨水排水ポンプ場は、一般的に完成までの期間と事業費はどれくらいかかることが予想されるか。

答 ポンプ場の規模によっても違ってくるが、一般的には、1か所のポンプ場で事業費20億円から50億円程度。期間は手続関係や用地の確保等も含めて建設には長期間を要することが想定される。

問 平時の維持管理に対して、せめて減災につながる十分な予算措置をとる

べきではないか。

答 計画的に、できる限り防災・減災につながる予算編成に努める。

ふるさと納税で地域活性化

問 平成25年度の西尾市のふるさと納税の状況は、どのようか。

答 寄附件数は20件、寄附金額は総額約716万円である。

問 ウェブサイトでのPR状況はどのようか。

答 専門のウェブサイト「わが街ふるさと納税 シティドゥ」に登録し、情報発信している。

特産品等の贈呈を検討しないか。

答 地元産業の振興につなげる好機であると認識している。本市のさらなる飛躍への一助にしたいとの思いから、来年度には、特産品の贈呈も含めた新たな西尾市のふるさと納税が実施できるように検討する。

問 どんな特産品の贈呈を考えているか。

答 まずは「抹茶」、「ウナギ」、「えびせんべい」の三品について、各業界団体のご協力をいただきながら進めていきたいと考えている。



西尾市観光協会マスコットキャラクター「まーちゃ」



新生西尾クラブ
本郷 昭代

内閣府・西尾市地震・津波防災訓練をいかにするために

問 11月5日に行われた大規模な防災訓練をどのように総括しているか。

答 合計3210人が参加。中学生が炊き出しや避難所開設訓練を実施して予想以上の戦力になると実感した。また、自衛隊、海上保安庁、警察、消防、自主防災会等による訓練では、国と防災関係機関との連携強化や地域の防災体制の確立、住民の防災意識の高揚を図ることができた。



防災訓練で炊き出し訓練に参加する一色中学校の生徒の皆さん

問 避難階段や屋上すりりなどを設置する民間企業への設置費用の助成や税制面の優遇策を考えないか。

答 民間資本の活用を取り組みは、自助さらには共助の意識を醸成する上で意義のあることだと考える。先進地の事例を研究するなど、具体的に検討し

ていく。

公共施設再配置実施計画と「にしお未来まちづくり塾」は

問 「にしお未来まちづくり塾」の主眼と期待はどのようであったか。

答 多様な官民連携の分野における視点や着想から、新たな公共空間の創造に必要な対話を重ね、再配置プロジェクトに対する市民ニーズを集約し、事業提案を行う民間事業者の募集要項等に反映させることであった。

問 「にしお未来まちづくり塾」で提案されたアイデアは、今後の計画の中でどのように具現化されていくか。

答 民間事業者が企画提案する際の大きな指針となるように整理して、PFI事業の要求水準書の中に盛り込み、活用していく。

地域公共交通と地域活性化を

問 名鉄西尾・蒲郡線の存続に関しては、他の運行方式などについても調査

分析する必要があると思うがどうか。
答 平成28年度以降の運行については、27年度中に結論を出すことになっているので、名鉄西尾・蒲郡線対策協議会ワーキング部会において、代替バス、あるいは線路の所有・保守と列車の運行とを別の運営主体で行う上下分離方式などの研究を改めて行っていきたいと考えている。



新生西尾クラブ
中村 眞一

ふるさと納税で地元産品をPR

問 西尾市の特産品を全国にPRすることを主眼として、ふるさと納税制度を活用しないか。

答 西尾市が誇る特産品を知っていたが、リピーターとして購入していたことで、産業振興に繋げる。

問 ふるさと納税の活用分野に「運動公園整備事業」を入れるか。

答 項目を入れることは検討する。

問 市のホームページから、クレジットカードで納税できないか。

答 ポータルサイトを通じて納付できるようにする。

安全確保のため廃線敷を活用

問 旧三河線廃線敷の平坂・楠村の要望箇所は、災害時の避難路や通学路の安全確保には無くてはならない箇所だが、どのように考えているか。

答 道路利用の不便さと、町内活動への影響、災害時の避難路等、地域の環境改善につながると考える。

問 旧三河線廃線敷を公園や短距離道路で、縦断的に利用することはできないか。

いか。

答 現在、横断道路の借地利用をお願いしている。公園利用や道路の縦断利用については、今後検討する。

平坂入江の堤防の地盤沈下は

問 愛知県地震等被害予測の見直しにより、平坂入江の堤防被災は、どのようか。

答 全ての堤防の75%が沈下すると計算されているが、堤防補強のことは何も記載されていない。

問 平坂・楠村の住宅密集地の入江の耐震工事は、市長の責任において要望しないか。

答 衣浦港整備促進期成同盟会で、西尾市の最重要課題として国・県に要望する。



平坂入江の堤防

問 衣浦港整備促進期成同盟会での要望だけでは弱いと思うがどうか。

答 愛知県海岸保全基本計画検討委員会で、積極的に進めるようお願いする。

問 市民消防隊に、災害時に安全に活動できる制服や安全靴を支給しないか。

答 個人への支給は難しいが、身分を含め、支援するよう検討する。



西政クラブ
稲垣 一夫

全国学力・学習状況調査の結果は

問 今年度の市内小・中学校の調査結果をどのように分析しているか。

答 小学校の基礎知識を問う「国語A」、国語の応用力を試す「国語B」、算数の基礎知識を問う「算数A」、算数の応用力を試す「算数B」とともに、満足できる正答率ではなかった。中学校の結果では、すべてのテストで、県や国の結果に対して、同等もしくはそれを上回る正答率であった。

問 今年度の愛知県の結果を見ると、小学校6年生の国語Bは全国最下位、算数Aは全国45位であるが、どう考えるか。

答 県としての結果も、市としての結果も厳しいものである。全国学力・学習状況調査の結果は、子どもたちの学力を確かめる1つの方法であり、これにより子どもたちの学力の全てを表すものとは思っていない。しかし、この結果を真摯に受け止め、今後の指導改善に役立てたいと考える。

問 今年度から自治体の判断で、学校ごとの成績を公表できることになったが、西尾市としてはどう考えているか。

答 本市では、全国学力・学習状況調査の結果により、各学校での今後の指導改善のための資料とすることをねらいとしている。本市としては、学校ごとの成績を公表することは今後も行わない予定である。

西尾駅西広場の利活用を

問 玄関口である西尾駅西広場にビジネスホテルを誘致することは、都市機能の高度化や地域経済の活性化に寄与すると考えるが、どのように認識しているか。

答 本市の玄関口である西尾駅西広場は、都市機能や地域経済の中心地の一角として、また、名鉄西尾駅を始めとする公共交通の要所としてビジネスホテル誘致には大変適した立地条件であると認識している。

問 西尾駅西広場にビジネスホテルの進出希望など具体的な提案はあるか。

答 まだ具体的な提案ではないが、ビジネスホテルの進出に興味を示している事業者は、現段階で1社ある。



西尾駅西広場



西政クラブ
田中 弘

西尾市民病院の診療機能等の向上対策

問 採血室の施設改修をしないか。

答 部分的な改修では対応しがたいため、今後の病棟改修の一環として検討する。

問 高齢化が進む中、多くの疾患を抱える患者を診る総合診療科を設置しないか。

答 特定の臓器や疾患に偏らず患者さん全体を診る総合診療科の医師は大変有効であり、医師確保のため関係機関と交渉を進めている。

問 市民病院のイメージアップにつながる「病院ふれあい祭り」の回数を増やさないか。

答 大好評のちびっ子体験や健康よるず相談の実施回数を増やし、現在は、3年に1度の病院ふれあい祭り開催についても見直しを検討する。



病院ふれあい祭りで行われた手術室体験

国民健康保険制度の維持・推進

問 国民健康保険税の滞納額を減らすため、どのように取り組んでいるか。

答 夜間・休日訪問、納税相談を実施し、納税意欲のない滞納者には積極的に財産の差押え等の滞納処分を行い、滞納の縮減に努めている。

問 国保加入者に対する今後の健康増進はどのように取り組んでいくのか。

答 データヘルス計画に基づき、生活習慣病等の該当者・予備群を対象にきめ細かな保健指導を実施し、健康寿命の延伸に努めていく。

学校評議員制度の効果

問 学校評議員は校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べているか。

答 学校評議員会では、教育活動を中心に、各委員からご意見をいただき、学校経営方針に沿って可能なことから反映させるよう努めている。

問 学校運営において、学校評議員制度の導入効果として挙げられることは何か。

答 制度導入により、地域の方々に学校の様子や教育活動に理解をいただけており、意見や助言をいただくことで地域や保護者の思いを受けた教育活動や地域に開かれた学校運営推進の力にもなっている。



新生西尾クラブ
中村 健

子ども議会の実施を！

問 西尾青年会議所が主催した「子ども議会」の意義と効果をどう考えるか。

答 子どもたちが市政の一端を体験し、学んでいく中で、西尾市の魅力や問題点を再確認できた。そして、ほかの学校の児童と意見交換をする中で、子どもの目線からよりよいまちづくりを創造することができ、大変有意義だったと考えている。

問 今後、市が主体となって、定期的にも子ども議会を実施していかないか。

答 現在のところ、市が主体となり定期的に子ども議会を実施していくことは考えていない。しかし、社会科学等の政治を学ぶ学習の中で、市議会の見学や市への提言など、子どもたちの学びの必要に応じ



子ども議会に参加してくれたメンバー

て今後も積極的に支援していきたいと考えている。

これからの時代に求められる地方公務員とは!?

問 これからの時代に求められる地方公務員の資質やスキルを端的に挙げるのであればどうか。

答 市の特性を生かした新しい価値を創造していく能力、前例にとらわれず行政のプロとしての高い専門性と行動力、常に新たな課題に挑戦していくチャレンジ精神を備えた人材の育成が必要だと認識している。

問 職員の心構えとして、話す相手の目的を理解した上で、100%満足してもらえない対応ができていないか。どのような方法がほかに考えられるか。できない理由ではなく、できる方法を考えることが望ましい姿ではないか。

答 要望や提案があった際には、常に市民目線に立ち、その目的や内容を正確に理解し、現場に足を運んで現場第一主義を徹底した上で、「できるか」「できないか」の判断をすべきである。そして、要望や提案に対する返事をする際には、検討の経過も丁寧に説明するとともに、仮に「できない」というような場合についても、代替りの提案を示すような対応ができることが望ましいと考える。



無所属
鈴木 規子

市民病院の改善のための提案

問 市民病院の患者の治療に市内の医院や診療所の医師も参加する病診連携をもっと進めないか。

答 医師間で共通の診療計画をもち、連携した診療は、大腿骨頸部骨折、脳卒中。これ以外にも糖尿病や心筋梗塞に取り組んでいる。今後も可能な限り対象となる疾患をふやしていきたい。

問 医師確保の困難を補う救急救命等の看護師の特定資格取得を進めないか。

答 現在、救急看護、がん性疼痛看護、認知症等7名だが計画的に増やしたい。

問 地域包括ケア病棟を増やすというが、効果が見込まれる口腔ケアに努めないか。

答 現在、歯科の先生方の協力を得て進めている。今後も積極的に取り組む。

問 250万円節減のために5千万円もかけてシステム改修？

答 今まで納期ごとの市民税等の通知を年1回にまとめて送るといふがなぜか。郵送料の節約のため検討している。

問 そのためのデータシステム改修費は5千万円余というが、郵送料は、いったいいくら節減できるのか。

答 市民税、固定資産税、介護保険料など全部で250万円の見込み。

問 経費もかかり過ぎ、市民サービスは低下する。納付忘れなど逆に増えしてしまうのではないか。

答 混乱のないようにしたい。

子宮頸がんワクチンの副反応被害に追跡調査の実施を

問 小6から高1の女生徒を対象に子宮頸がんワクチン接種が行われている中、重篤な副反応の被害が報道されているが、市の接種者はどのほどか。

答 23年2月から26年9月までで4千388人いる。

問 末梢神経障害や免疫異常など重い被害が出ており、その発症率は日本脳炎ワクチンの3倍以上、県内で26例あるというが、本市の状況はどうか。

答 保護者からの報告が1件あり、その後の体調について確認を行っている。

問 副反応被害と気づかないで苦しんでいる事例もあるときく。追跡調査を行うべきではないか。

答 必要性は認識している。実施を前に他市を調査したい。



市政クラブ
鈴木 正章

農業副都心構想は

問 当施設の事業方式、事業主体の選定の用途はどのようか。

答 事業方式は、民間、J A、第三セクターまたは市などの事業展開を想定。事業主体は施設ごと、一括整備を想定している。選定はなるべく早い時期に行う。

問 整備に向け国・県のアドバイスはあるか。

答 今後具体的に整備施設が固まれば国・県のアドバイスを求める。

問 都市計画道路岡崎一色線と名鉄西尾線との交差の考えと用途はどのようか。

答 県の計画は立体交差だが、早期事業化を目指す名鉄に平面交差を要望しているが、難航している。今後も実現に向け粘り強く努力する。

問 当施設のブロック別開発の予定はどうか。

答 7ブロックに区分し、順次事業化を目指し計画を進める。

問 本年度実施のパブリックコメントの骨格はどのようか。

答 現状分析、導入機能、ゾーニング、整備施設、想定する事業主体等を予定している。

岡崎西尾地域ごみ処理広域化計画は

問 当市で今後も処理する「ごみ焼却施設処理」以外の品目と処理施設数はどのようか。

答 不燃ごみ、ペットボトル、トレー、プラスチック製容器包装ごみ、小型家電、乾電池、蛍光管で3施設である。

問 8項目の調整事項の協議用途は。稼働を平成42年とし、早急な事項と供用開始までの事項に区分し、早急に詳細日程を作成する。

問 各市町で処理するとした剪定枝の処理量と処理方法はどのようか。

答 搬入量は約5千トン程度。処理方法は担当課内に組織する検討委員会でも多方面の処理方法を検討する。

問 組織体制は「事務の委託」を第一優先としたが最終判断の用途はどうか。

答 供用開始の日程を協議する中で決定する。

問 新施設の処理量と、現状のごみ排出量・予測との差異の認識はどうか。

答 新施設処理量は、5年ごとの基本計画見直しの最新データで行う。



日本共産党西尾市議団
前田 修

一色支所解体、市営住宅建設は

問 一色地区では、支所解体後に市営住宅を建設することに反対の声が上がリ、1万3千人近い署名が集まった。市民の意見聴取の不足ではないか。

答 市民説明会、ホームページ、市民協働ガイドなどで情報を提供してきた。ご理解をいただきたい。

問 出来あがった計画を説明するのはなく、計画段階での意見交換が必要だと思う。PFIによる性能発注方式では、結局、市民の意見を聞く機会が不足するのではないか。

答 ワークショップなどで市民の意見を聞いている。可能な限り要望を盛り込んで発注したい。

産廃地域会議に県の参画を

問 平成23年度に廃棄物の処理及び清掃に関する法律が改正されたが、一色地区の跡地問題はそれ以前であることから、県は無責任な態度に終始している。どう認識しているか。

答 限られた規定の中で最低限の指導・監督をしていると思うが、決して満足できるものではない。

問 専門家を交えた「一色地区産廃跡地問題地域会議」が設立されたが、県から参画していない。県抜きでは解決しないと思うがどうか。

答 文書にて要請したが、受け入れてもらえなかった。県が関与すべき課題であり、引き続き粘り強く要請していきたい。

問 市長が直談判してでも要請すべきでないか。

答 県の協力は必要と思っている。受け入れてもらえないなら、再度、私が出かけ要請したい。

児童クラブ、一時保育拡充は

問 児童クラブは、新年度はどういう計画か。

答 小学6年生までの受け入れの順次拡大と保育時間の延長を検討している。当面、現在の施設の中で対応することとし、指導員の増員を予定している。

問 一時保育の拡充について新年度の計画はどのようか。

答 西尾地区の公立保育園での実施について検討する必要がある。



充実が求められる
低年齢児保育や特別保育



市政クラブ
永山 英人

家庭系ごみの収集及び運搬の業務委託

問 西尾市行財政改革推進計画第4次実行計画には、ごみ収集及び運搬業務委託の検討が取り上げられていないが、どのような理由か。

答 平成21年までに目標を達成したことから、合併時に検討した結果、西尾市行財政改革推進計画第4次実行計画では、対象としないことにした。

問 一色地区、吉良地区、幡豆地区のごみ収集及び運搬業務は、業者委託で行われているが、何か問題はありますか。

答 全てを業者委託で行っているが、現在のところ特に問題は生じていない。

問 委託は問題ないとのことですが、委託化推進の足がかりとなるが、委託の効果はどのようか。

答 直営で行う場合と比較して、委託は職員の削減が可能となり、人件費の抑制が図られることで、効率的な行政運営を推進することが可能になる。

問 ごみ収集及び運搬業務の全面委託化に向け検討しないか。

答 今後、行財政改革推進計画第5次

実行計画を策定していく中で、直営でのメリット、委託化した場合のメリット等を総合的に判断して考える。

放課後子どもプラン

問 寺子屋にしお推進事業と児童クラブ運営事業の現状と事業ごとの平成25年度の活動内容や開催日数、事業費はどのようか。

答 「寺子屋にしお」は市内10カ所で、小学1年生から3年生までの児童が対象で5月から翌年2月までの平日放課後2時間、週2日開設。事業費は、指導者への謝礼や消耗品費等総額440万円である。

「児童クラブ」は、平日、土曜日、学校の代休日や夏休みなど長期休業期間を合わせて294日で、事業費の総額は、臨時職員の賃金や専用のクラブ室のリース料等、約2億716万円である。

問 国は、放課後児童クラブ及び放課後子ども教室を一体型にして進める方針だが、西尾市も一体型を考えないか。

答 それぞれ異なる目的や環境であることから、2つの事業を一体型で行うことは難しいと考えている。また、事業実施のための場所の確保には多くの課題を抱えている。放課後子ども総合プランの趣旨をふまえ、今後も2つの

事業の連携のあり方などについて、先進事例を参考に調査・研究をしていく。



公明党西尾市議員
大塚 久美子

名鉄西尾・蒲郡線存続を

問 現在は確認書があっても、廃線届を提出することが可能だが、今後どのように対応するのか。

答 名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会を始め、沿線での各種イベント開催、そして、市民にこの路線が、この地域になくてはならない交通機関であることを認識してもらいたいと考えている。



本年度は蒲郡市で行われた名鉄西尾・蒲郡線利用促進大会

人に優しいまち西尾市を目指して

問 高齢者や障害者が利用する公共施設のバリアフリー化や洋式トイレの設置を進めないか。

答 健康福祉部所管の施設では完了しているが、他部署が所管する公共施設のバリアフリー化については、計画的に推進するよう依頼している。

問 市民が使うスポーツ施設や図書館などの公共施設に、「赤ちゃんの駅」として授乳、おむつ替えのできる場所

を作らないか。

答 今後、未設置の施設については、できる限り設置したいと考えている。

問 配偶者暴力相談支援センター、DVシエルトの設置を考えないか。

答 現在、考えていない。

問 男女共同参画社会の実現に向け、市役所女性職員の管理職への登用を推進しないか。

答 具体的に数値目標を掲げ、その目標達成のために人材育成及び能力開発を行っていく。

市民の生命を守る防災・減災を

問 自主防災会に協力する防災ボランティア団体に助成をしないか。

答 間接的な形で支援は図られていると考える。

問 避難所を含む公共施設等において、WiFiアクセスポイントの設置を考えないか。

答 今後も通信手段については研究を続けていく。

問 防災ラジオの設置の状況の確認、あっせんをしないか。

答 防災ラジオによる情報の伝達は大変有効であるので、防災情報の重要性とともに防災ラジオのメンテナンス、あるいは無償貸与制度のPRをしたいと考えている。



新生西尾クラブ
山田 高生

安心して預けられる保育園の運営は

問 子ども・子育て支援法の創設などにより、保育の供給の多様化が進んでいるが、西尾市の現状はどのようなか。

答 市内における認可外保育所の設置数は12施設で、内訳は事業所内保育所10施設、認可外保育所が2施設である。新制度による地域型保育事業の事業認可については現在のところない。

問 低年齢児保育や延長保育の充実で、保育士の確保が難しくなっているようですが、西尾市の現状と将来の見込みはどのようなか。

答 現在は特に延長保育を担当するパート保育士が不足しており、日中の保育士がカバーをしている。また、病気や出産のための休暇や低年齢児の途中入園に対応する保育士も不足している。この状況は、しばらく続くと予想をしている。保育士確保では、就職相談を行い、2人が来年度就労する予定である。

問 平成14年度に策定された西尾市立保育所民営化等実行計画の進捗状況と、その成果はどのようなか。

答 西尾市立保育所民営化等実行計画の進捗状況は、公立保育園の6園の民営化を、計画どおりに進めた。新しくくさの実保育園と矢田つぼみ保育園を新設した。現在コストの削減効果はほとんど出ていない。

農業副都心構想の実現は

問 実現するという観点において、現在の進捗状況はどのようなか。

答 実現可能性については、当エリアは市街化調整区域の農業振興地域内農用地であるので、事業化には必ず農振除外、農地転用及び開発行為の許可が必要になる。それら許認可の見込みが立ちやすい場所から、順次、計画を押し進め、事業化に向けて努力していく。

問 事業を盛り上げて出店者を呼び込むには、西尾市がどれだけ整備に投資をするか、覚悟と意気込みを示すべきではないか。

答 民と官がそれぞれ役割分担に応じた責務を果たしながら、実現に向けて努力すべきであると考えている。各界各層の皆様から多様なご意見、ご要望をいただきながら魅力的な整備計画を策定していく。



「農業副都心」構想エリアとなる福地南部地域



公明党西尾市議員
大河内 博之

認知症対策を

問 すべての小・中学校で認知症サポーター養成講座を取り入れていけるか。

答 すべての小・中学校に取り入れることは考えていないが、市の事業である「小学校認知症サポーター養成講座」及び県の事業である「小・中学校及び高校生を対象とした認知症サポーター養成講座」もすべての学校に紹介している。

問 本市における徘徊高齢者等SOSネットワーク構築に向けた取り組みと徘徊高齢者探索模擬訓練を実施しないか。

答 認知症高齢者等が徘徊により行方不明となった際の早期発見・保護を行うための徘徊高齢者等SOSネットワークについては、民生児童委員や介護関係者を始め、協力をいただける方々によるネットワークを早期に構築し、メールを活用した情報発信を行うとともに徘徊高齢者探索模擬訓練なども実施していきたいと考えている。

問 認知症の方が徘徊した際、早期発見・保護に向け、近隣市町村と連携し

て取り組んでいかないか。

答 現在、広域探索を行う場合の情報提供方法や提供する情報の項目について碧南市、刈谷市、安城市、知立市、高浜市と協議を進めており、その結果に基づき取り組んでいく。

多文化共生社会づくりの推進

問 外国籍児童・生徒への教育支援について、どのような取り組み、支援を実施しているか。

答 外国人児童生徒アドバイザー3名、ポルトガル語通訳3名、早期適応教室指導員3名を雇用し、日本語教育が必要な児童生徒のための対応をしている。また、就学前の児童を対象とした多文化子育て支援事業のプレスクールや外国にルーツをもつ子どもに対する就学支援事業「多文化ルームKIBOU(きぼう)」を活用して、外国人児童・生徒教育の充実に努めている。

問 外国籍市民の防災・減災対策について緑町では外国籍市民を対象に防災訓練を行っているが、他の自主防災会にも広げていかないか。

答 その報告書では外国籍の方も「大きな地域力」であるということであった。防災訓練だけでなく、地域コミュニティへの参加は重要なことであると認識しているため、関係部局と連携し、その必要性を啓発していく。



新生西尾クラブ
神谷 雅章

次世代につなぐ「新しいまちづくり」事業

問 西尾の玄関口として西尾駅西再開発だけでなく、駅舎の改修や駅東の整備も含め、駅周辺の環境整備を考えたか。

答 西尾駅周辺の40年ぶりの再生のためには、駅中心の開発が有効である。名鉄バレー地との一体利用も模索し、玄関口にふさわしい土地利用を図る。

問 地域資源を生かした観光振興を考える上で、観光入り込み客数増加に向けた施策の具体的な取り組み状況はどのようか。

答 観光地としての土壌づくりとして、「おもてなし隊」の結成を目指し、観光客に様々な情報を伝え「西尾を訪れてよかった」と思っていただけの観光地づくりを進める。

問 今の観光施策に合併前の各市町の考えや思いが引き継がれているか。

答 観光基本計画は、各市町の考え・意志を受け継ぎ策定した。

駅周辺の駐車場整備や利用者の利便性を考慮した駅移転も含め、電車を利用しやすい環境を整備しないか。

答 地域の皆さんの意見・要望を聞き検討する。駅移転は、今後、市全体での議論の上、慎重に検討されるべきと理解している。

問 農業副都心の着工が市長のマニフェストよりも遅れているのは、どのような理由か。

答 現市長の任期中に実現可能な施設から着手を目指していく。

問 農業副都心構想の整備計画策定に当たっては、東西に走る衣浦蒲郡線整備も検討の上、策定しないか。

答 衣浦蒲郡線の4車線化を見据えた進入路や施設配置を考える。

問 災害に強いまちづくりのため、国や県に対し、堤防、河川で崩壊などの危険箇所改修要望をしているか。

答 県において、平成26年11月26日に公表された津波浸水・高潮浸水想定に対して調査研究を行い、危険箇所の整備促進を要望していく。

問 西尾市公共施設再配置実施計画は、市民の声に耳を傾けず、計画が独り歩きしていると考えるが、計画の進め方をどのように自己評価しているか。

答 再配置後の姿が確定するまで、できる限り市民と対話を設けていきたい。

名鉄西尾・蒲郡線存続のために要望書を提出

西尾市と蒲郡市の両市議会は、一昨年に続き、昨年12月19日、名古屋鉄道株式会社本社を訪れて、名鉄西尾・蒲郡線の存続を求める要望書を提出しました。

神谷議長はあいさつの中で、「市民を上げて存続活動を行っている。廃線になれば学生の足、地域の足がなくなる。そうすると過疎化が進んでしまうので、何とか存続をお願いします。」と要望しました。

名鉄西尾・蒲郡線の存続問題は依然厳しい状況ですが、市議会も鋭意努力してまいりますので、市民の皆さんも引き続き「乗って残す」べく、ご理解とご協力をお願いします。



名古屋鉄道に「要望書」を提出する
西尾市・蒲郡市の両市議会議長ら

名古屋鉄道「西尾・蒲郡線」存続要望

モータリゼーションや少子・高齢化に起因した公共交通利用者の減少により、全国的に地域公共交通の維持が難しくなっております。一方で三河南部地域における公共交通機関の一端を担う名古屋鉄道「西尾・蒲郡線」は地域住民の日常生活に欠くことのできないものであり、特に高校生、大学生といった学生にとつての通学手段としてなくてはならないものです。

「西尾・蒲郡線」においては、貴社のハイキングをはじめ官民一体となって様々な利用促進を図る取り組みが実施されており、その結果、平成20年度から6年連続で利用者は増加しております。

一方で「西尾・蒲郡線」は、平成27年度まで運行は決定しておりますが、それ以降の運行は決定しておりません。現在、両市では、存続を前提に協議を進めておりますが、中学生、高校生の進路選択を考えると出来る限り早い時期に両市として存続の姿勢を示し、市民の皆様にも周知をしたいと考えております。

今後も乗車率向上を図るために、市民応援団をはじめ利用促進活動に取り組んでまいりますので、平成28年度以降につきましても引き続き名古屋鉄道「西尾・蒲郡線」の継続運行をお願いいたします。



にしがま線応援団
NISHIGAMA LINE CHEERING SQUAD

■ホームページ (<http://www.city.nishio.aichi.jp/>) で、各種公開会議の会議録（質問者、回答者のすべての内容）の他、録画映像（一般質問等）が閲覧できます。

市政に活かす！

【視察期間】厚生委員会・経済建設委員会／11月10日～12日、文教委員会・企画総務委員会／11月11日～13日

【視察目的】行政視察は、西尾市政の抱える課題や今後取り組むべき施策について、先進地の事例や状況を実際に見聞して調査し、西尾市政への反映を目指して実施しています。

◎委員長 ○副委員長

文教委員会

◎徳倉正美、○渡辺信行、大塚久美子、颯田栄作、小林敏秋、工藤光雄、岡田隆司

【視察地・テーマ】

長崎県長崎市 総合運動公園

福岡県那珂川町 ふれあいこども館

福岡県春日市 コミュニティ・スクール

【内容】

長崎市では、総合運動公園における公式競技施設の施設内容、利用状況、維持管理状況などについて話を伺いました。西尾市においても同種の構想がありますが、場所の選定や施設内容、財源確保、用地取得等、課題はたくさんあります。西尾市の50年後・100年後を見据えた一大事業として、しっかり調査して取り組んでいきます。

那珂川町では、子育て支援センター機能と児童館機能を有する複合型施設である、「ふれあいこども館」について話を伺いました。施設に複合機能を持たせる点も参考になりましたが、利用者が気軽に集え、長く愛される施設となるよう、施設的设计段階から住民の意見やアイデアを取り入れながら進めたプロセスについても、参考にすべきであると感じました。

春日市では、学校運営に地域のみなさんの声を反映させる、コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について話を伺いました。コミュニティ・スクールを実施することで、地域、学校、行政それぞれの負担が大きくなるのが予想されますが、たくさんの大人の目で子どもたちを育てていくことは、非

行の減少や学力向上の面から考えても有意義であり、実現に向けて検討していく価値のある制度であると感じました。



那珂川町では現地視察も実施

企画総務委員会

◎鈴木武広、○本郷照代、中村健、前田修、石川伸一、中村眞一、長谷川敏廣、神谷庄二

【視察地・テーマ】

山口県宇部市 BCP（事業継続計画）

山口県山陽小野田市 防災基本条例

大阪府泉佐野市 ふるさと納税

【内容】

近い将来に起こるとされる南海トラフ大地震に備え、西尾市における防災・減災対策をさらに進めていくため、宇部市ではBCP（事業継続計画）について、山陽小野田市では防災基本条例について話を伺いました。

BCPとは、大規模災害発生時などの非常時に、**視察地の職員から説明を受ける**大きく被害を受ける可能性が高い行政機能について、優先業務を適切に実施できるよう必要事項を定めるもの。また防災条例は、防災に対する基本理念を定めるとともに、市民・事業者・市など関係者の責務と役割を明らかにしています。西尾市では未整備のため、関係部局としっかり協議を重ねながら、災害に強いまちづくりに努めていきたいと考えています。

また、泉佐野市では、最近テレビで取り上げられる機会も多いふるさと納税制度をテーマに、現在に至るまでの苦勞、成果、今後の課題等について話を伺いました。

ふるさと納税制度は、活用の仕方によっては、地域活性化が図られるとともに、寄附者、地元の農商工業者、行政の三方よしになり得る制度です。先進地の取り組みを大いに参考にして、西尾市への導入について考えていきたいと思ひます。



視察地の職員から説明を受ける

厚生委員会

◎松井晋一郎、○鈴木正章、松崎隆治、山田高生、
稲垣一夫、稲垣正明、新家喜志男、山田慶勝

【視察地・テーマ】

神奈川県厚木市 健康食育あつぎプランの取り組み
神奈川県小田原市 小田原市立病院の黒字経営の取
り組み
静岡県富士宮市 ワンストップ福祉総合相談支援体制
構築への取り組み

【内容】

厚木市では、健康増進計画と食育推進計画とを一体的に策定した、「健康食育あつぎプラン」について話を伺いました。24時間年中無休で、健康、医療、介護、育児、メンタルヘルスなどについて、電話で相談できる「あつぎ健康相談ダイヤル24事業」は、西尾市でも検討すべきものであると考えています。

小田原市では、平成21年度より経営黒字を維持しており、研修医の採用でも定員を大きく超える応募が毎年あるという、小田原市立病院へ伺いました。西尾市民病院と一概に比較できない部分もありますが、市長が先頭に立ってのトップセールスの展開、事務職員のスキルアップのための環境整備など、見習うべき点も多くありました。

富士宮市では、高齢・障がい・児童福祉、DV、所得補償などの重層的な課題に対応する、ワンストップ福祉総合相談支援体制について話を伺いました。現在西尾市では、重層的な課題に対して各々の部署で対応し、各担当課同士の連携は十分とはいえない面もあります。こうした課題をスムーズに解決するための相談窓口の設置は、大変有意義であると感じています。

質疑応答により、
より詳細な調査
を実施



経済建設委員会

◎高野邦良、○神谷雅章、大河内博之、永山英人、
高須一弘、田中弘、鈴木規子

【視察地・テーマ】

鳥取県鳥取市 ①地産地消推進事業 ②官民連携
による鳥取駅周辺の再生 ③道路空
間を活用した中心市街地の再生
兵庫県赤穂市 赤穂観光アクションプログラム
兵庫県相生市 空地空家対策推進の取り組み
香川県土庄町 廃棄物対策豊島住民会議と行政等の
関わり

【内容】

鳥取市では、道路空間を活用した中心市街地の再生、官民連携による駅周辺の再生、地産地消推進事業について話を伺いました。西尾市でも、西尾駅西広場の開発や農業副都心構想など、ビッグプロジェクトを控えており、大きな予算が投じられるだけに、先進事例をしっかりと調査・研究していかなければならないと考えています。

赤穂市では、「赤穂観光アクションプログラム」について話を伺いました。西尾市では、平成26年度を観光元年と位置づけ、各種の観光振興策を講じています。観光資源の発掘と普及、交通アクセスの拡充、おもてなしの充実など、赤穂市の例も参考にしながら、まずは西尾市を県内一の観光地とできるよう取り組んでいきたいと考えています。

相生市では、近年全国的に課題となっている、空地空家対策について話を伺いました。行政には、個人の財産へは介入できないという、民事不介入の原則がありますが、放置しておけば近隣住民に危害を及ぼす恐れがあるだけに、西尾市でも喫緊の課題として取り組んでいく必要があると感じています。

土庄町では、廃棄物対策豊島^{てしま}住民会議と行政等との関わりについて話を伺いました。西尾市には、県によって許可が取り消され、水処理がされないまま放置されて10余年が経過した産業廃棄物処分場跡地があります。両市町では異なる事情もありますが、当市における解決への道筋をつけていくためにも、豊島の取り組みは大いに参考になりました。

【議会トピックス】 1月23日、西尾市議会では、議会改革の一環として、初めて公開して「視察・研修報告会」を実施しました。報告会は、各委員会が実施した行政視察について、議員間での情報共有及び意見交換により、その効果をさらに高め、議会全体の資質・機能向上を目指しています。

■12月定例会で審議され、可決した議案等

- ☆ 西尾市人権擁護委員に、石川始史氏、美濃浦恵子氏を推薦することに同意しました。
- ☆ 西尾市副市長に、増山信也氏を選任することに同意しました。

★専決処分の承認について（平成26年度西尾市一般会計補正予算（第5号））	★平成26年度西尾市一般会計補正予算（第7号）
★専決処分の承認について（平成26年度西尾市一般会計補正予算（第6号））	★平成26年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
★西尾市社会福祉事務所設置条例の一部を改正する条例の制定について	★平成26年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）
★西尾市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	★平成26年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第2号）
★西尾市病院事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	★平成26年度西尾市水道事業会計補正予算（第1号）
★西尾市民病院医師確保奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	★西尾市議会の議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市医師研修資金貸与条例及び西尾市看護師等修学資金貸与条例の一部を改正する条例の制定について	★西尾市特別職の職員で常勤のものの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★西尾市水防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について	★西尾市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
★市道路線の廃止について	★平成26年度西尾市一般会計補正予算（第8号）
★市道路線の認定について	★平成26年度西尾市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
★西尾市ハツ面ふれあいセンターの指定管理者の指定について	★平成26年度西尾市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）
★西尾市福地ふれあいセンターの指定管理者の指定について	★平成26年度西尾市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）
★西尾市米津ふれあいセンターの指定管理者の指定について	★平成26年度西尾市介護保険特別会計補正予算（第3号）

■12月定例会に出された請願書・陳情書

★マクロ経済スライドの廃止と最低保障年金制度の実現を求める請願	名古屋市中区新栄2丁目53-19 全日本年金者組合愛知県本部 執行委員長 伊藤良孝 西尾支部 支部長 小林隆弘	(紹介議員) 前田 修	不採択
★地球社会建設決議に関する陳情書	横浜市中区本郷町3-287 荒木 實		議長預かり
★横田めぐみさん拉致事件に関する陳情	東京都目黒区中町2-49-3 日本軍海兵隊 片木 豊		議長預かり
★安全・安心の医療・介護の実現と夜勤改善・大幅増員を求める陳情書	名古屋市熱田区沢下町9番3号 労働会館本館403 愛知県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 西野ルミ子		不採択
★介護従事者の処遇改善を求める陳情書	名古屋市熱田区沢下町9番3号 労働会館本館403 愛知県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 西野ルミ子		不採択
★愛知県看護職員15万人体制などの実現を求める陳情書	名古屋市熱田区沢下町9番3号 労働会館本館403 愛知県医療介護福祉労働組合連合会 執行委員長 西野ルミ子		不採択
★介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充についての陳情書	名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3階301号 愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 森谷光夫		不採択
★子育て支援などについての施策拡充についての陳情書	名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3階301号 愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 森谷光夫		不採択
★社会保障に関する施策拡充についての陳情書	名古屋市熱田区沢下町9-7 労働会館東館3階301号 愛知自治体キャラバン実行委員会 代表者 森谷光夫		不採択

